

契約監視委員会（第 32 回）議事概要

開催日時	令和 3 年 7 月 30 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 35 分	
場 所	衆議院第二別館 5 階 会計課入札室（WEB 会議）	
委 員	委員長 栗国 正樹（公認会計士・税理士） 委 員 川端 義雄（株式会社ネクスコ・メンテナンス関東 アドバイザリー） 委 員 山崎 愛子（公認会計士）	
議事概要	1. 入札及び契約手続の運用状況、指名停止の運用状況等についての報告 2. 抽出結果の報告 3. 抽出案件の説明及び質疑応答	
審議対象期間	令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで	
抽出案件	3 件（合計）	
一般競争	2 件	契約件名 国会前庭（南地区）ほか 4 か所の樹木剪定等業務 契約相手方 上園緑地建設株式会社 契約金額 9,900,000 円 契約締結日 令和 2 年 12 月 14 日
		契約件名 分館 4 号冷凍機改修工事 契約相手方 第一工業株式会社 契約金額 127,600,000 円 契約締結日 令和 2 年 12 月 21 日
随意契約	1 件	契約件名 議員逮捕通知書の印刷 契約相手方 独立行政法人国立印刷局 契約金額 2,768,500 円 契約締結日 令和 3 年 1 月 14 日
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

お問合せ先 衆議院事務局庶務部会計課 電話 03-3581-5111（代表） 内線 34340

(別紙)

意見・質問	回答
<p>[案件1]</p> <p>契約件名 国会前庭(南地区)ほか4か所の 樹木剪定等業務</p> <p>契約相手方 上園緑地建設株式会社</p> <p>契約金額 9,900,000円</p> <p>契約締結日 令和2年12月14日</p> <p>・低入札価格調査を行っているが、最低賃金 についての確認を行っているか。</p> <p>・落札率53.3%ということは、予定価格がかな り高かった印象もあるが、各者、応札金額に開 きがある。各者の応札金額の内訳の確認は行 っているか。</p> <p>・同下半期に別発注で、正副議長公邸樹木剪 定の契約があるが、分けている理由は。</p> <p>・本件は、低入札が続いている傾向にあると して、当委員会でも以前にも審議されているが、 改善策について検討はされているか。</p> <p>・契約相手方は毎年入れ替わっている状況か。</p> <p>・各者の応札金額の内訳の確認は行っていな いということだが、競争は公正に行われている という理解か。</p> <p>(意見)</p> <p>・特殊な技術力及び審美性が必要とされるこ とから、金額による競争だけでなく、技術力の 高さも考慮できる入札方式としてはいかが か。</p> <p>・剪定作業後の検収において履行状況を評価 して伝える等、業者への事後的なフォローに 繋がるプロセスがあることが望ましい。</p> <p>・剪定後のメンテナンス及び管理等も併せて 考えてはいかがか。</p>	<p>・確認している。</p> <p>・総額のみ確認である。</p> <p>・剪定の時期が違う点、松の剪定が含まれて いる箇所は技術力を要する等、剪定業者の条 件の相違によるものである。</p> <p>・検討しているが、結果として続いている状 況である。</p> <p>・応札者は複数おり、入れ替わることもある。</p> <p>・適正な競争が行われていると考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>[案件 2]</p> <p>契約件名 分館 4 号冷凍機改修工事 契約相手方 第一工業株式会社 契約金額 127,600,000 円 契約締結日 令和 2 年 12 月 21 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件については、定期点検を行っているか。また、本件は定期点検とは別発注か。 ・4号機とのことで、今後も一定期間ごとに行う計画か。 ・本件の改修工事では、企業及び技術者の能力を求めて評価した総合評価落札方式を取っているが、技術の評価は行っていないのか。例えば、仕様で求めている消費電力を低減するといった点について、評価を行ったか。 ・消費電力低減を求めているということなどを踏まえれば、ライフサイクルコストの観点からも、ある程度、技術提案を求めて評価する必要があるのでは。 ・2か年の国庫債務負担行為とした根拠は。 ・総合評価落札方式について、以前にも当委員会で話が出たが、評価者を外部に依頼するということは検討したか。 ・契約相手方は、当該機器の製造業者か。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事目的として、老朽化による改修に加え、消費電力の低減が掲げられている。消費電力の低減についての取組を評価する総合評価落札方式としてはいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検は毎年行っている。本件は、機器の定期点検結果や耐用年数等を考慮して行っている改修工事であるため、定期点検とは別発注である。 ・本館構内用として冷熱源機は4基あり、順次更新しており、今回工事の4号機改修工事が最後という整理である。 ・総合評価落札方式に関しては、内規に基づいて行っているもので技術提案は求めている。 ・今回のような工事内容であれば、そこまでの能力を求めずに施工計画を求めて評価する形を取っている。 ・事前に機器メーカーに確認したところ、機器の納品に半年程度掛かると聞いており、冷房用の機器であるので、春から夏に発注した場合、機器設置がシーズンオフとなってしまう、試運転確認が出来なくなる。このため、冷房シーズンを考慮しつつ、機器据え付け後の試運転の確認までを行えるよう、年度をまたぐ計画としたものである。 ・今のところ、検討は行っていない。 ・製造業者ではなく、工事受注業者である。

意見・質問	回 答
<p>〔案件 3〕</p> <p>契約件名 議員逮捕通知書の印刷 契約相手方 独立行政法人国立印刷局 契約金額 2,768,500 円 契約締結日 令和 3 年 1 月 14 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部数は何部か。また、1部あたりの頁数は。 ・特殊な紙を使用しているか。 ・履行期限は。 ・随意契約とした理由について、緊急性は理解したが、その他、契約相手方を選ぶ根拠は。 ・秘匿性ということであれば、例えば刑務所の印刷工場であるとか、または、契約上に守秘義務の制約を求めることでクリアできるのではないか。 ・国会法によれば、令状の写しを添えるとあるが、令状の写しと氏名だけで50枚にもなるのか。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務の負担・費用を考慮し、電子化することを検討されてはどうか。 ・業務の緊急性及び秘匿性については理解したが、過去実績や業者の規模等の条件により、対応可能な業者を調査しておくことも必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部数は490部、1部あたり50枚(100頁)となっている。 ・法案などに使われている紙と同様である。 ・令和3年1月18日に配付した。 ・本件はかなり特殊であり、また、単に紙を印刷していただくという訳にもいかず、それなりに編集を要する。加えて、秘匿性も求められること、また、短期間での履行可能な条件を踏まえ、議案類印刷を請け負っている契約相手方が妥当であると判断した。 ・契約上で縛るということもあろうかと思うが、緊急性から履行可能かという点と、議案類の実績から判断した。 ・拘留の延長が決定した場合などその度に増えること等も理由かと思われる。